

今日のトピック

欧州株式市場の動向

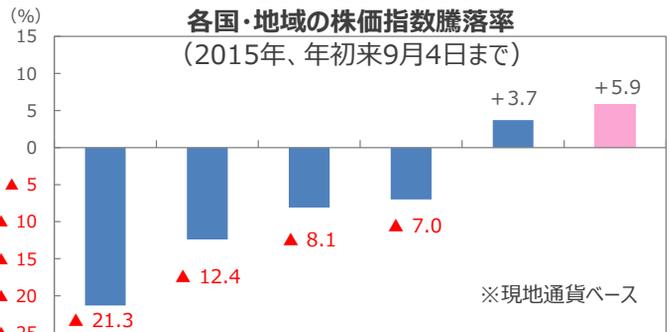
金融緩和継続により、底堅い展開を期待

ポイント1

強力な金融緩和から、パフォーマンスは良好

新興国は経済と金融政策が制約

- 年初来の世界の主要株式指数のなかで、欧州のパフォーマンスは良好です。欧州や日本は強力な量的金融緩和をしていることが背景です。
- 一方、景気減速懸念が高まっている国、通貨安懸念から金融緩和に制約がある国、利上げが見込まれる国の株価指数のパフォーマンスは低調です。



中国 (H株) トルコ 米国 ブラジル 日本 欧州
 (注) 欧州はユーロストック600指数、日本は東証株価指数、ブラジルはブラジルボベスパ指数、米国はNYダウ工業株30種、トルコはイスタンブール100種指数、中国はハンセン中国企業株指数の各配当込みベース。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2

企業業績は拡大

株価は業績に沿う展開へ

- 欧州の株価指数は企業業績の拡大に沿って推移しています。景気回復や金融緩和による資金調達環境の好転がその背景です。物価が前年比プラス圏となり、デフレ懸念が後退したことも影響していると見られます。
- 今後、2017年に向けて、企業業績は緩やかな拡大が見込まれており、株価は企業業績の拡大に沿って推移することが期待されます。



(注) 純利益は2002年～2017年(年次)。2015年以降はBloomberg L.P. 予想。ユーロストック600指数ベースの1株当たりの純利益を表示。ユーロストック600指数は2002年1月3日～2015年9月7日。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

金融緩和の強化も予想され、株式市場は底堅い展開へ

- ユーロ圏の景気は、これまでのユーロ安や金融緩和の効果などにより輸出や消費が緩やかに回復しています。ギリシャを巡る不透明感も落ち着きを見せ、2016年は1%台半ばの経済成長率、1%程度への物価上昇が見込まれます。
- 景気と物価のリスクとしては、中国など新興国経済の下振れ、原油安の進行などが考えられます。ただし、下振れの場合には、欧州中央銀行 (ECB) による金融緩和の強化が見込まれます。株式市場は企業業績拡大と緩和的な金融環境を背景に底堅い展開が予想されます。

ここもチェック!

2015年 9月 4日 ECBは金融緩和の強化を示唆
 2015年 8月27日 最近の指標から見る欧州経済 (2015年8月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。